

ひと

芸能専門家の能力開発  
実演家の身体ケア・異分野体験  
スタッフのスキルアップ  
芸術マネジメント学校

しくみ

著作権や肖像権の充実  
芸術振興のための  
支援制度、税制の提言  
文化芸術振興基本法の  
理念の浸透

芸能  
花伝舎

場

学校や地域と  
協力した子どもの  
芸術体験機会づくり  
大人のための芸術入門

芸能文化を担う「ひと」を育て、芸能文化を育む「場」を作り、「ひと」と「場」が豊かに活かされる「しくみ」を整え、すべての人々が芸能の恵みを楽しめる社会の実現を目指しています

# 「芸能花伝舎」

づくり

芸団協による  
芸術文化の  
「ネットワーク」

「芸能花伝舎」は、  
「21世紀における芸能の伝統継承と  
新たな創造を生起する芸能文化拠点」を  
目指しています。

## 小学校が生まれ変わった！



廃校になった旧新宿区立淀橋第三小学校を社団法人日本芸能実演家団体協議会（芸団協）が、新宿区から借り受け、創造・交流のための芸術文化の拠点として「芸能花伝舎」をオープンさせました。

周りを高層ビルやマンションに囲まれた、旧淀橋第三小学校の家庭科室や給食室、音楽室などが、芸能の稽古場、ワークショップ用スペースに、そして職員室や教室

が会議のスペースとして生まれ変わりました。

「芸能花伝舎」の「花」は芸の魅力・真髄という意味を持ち、「伝」は仲間や社会への発信・継承を意味しており、世阿弥の著作「風姿花伝」から命名されました。

## 5月5日こどもの日オープニングイベント

5月5日には、こどもの日ということで、多くの親子を招いて、オープニングイベントが開催されました。参加者は、マジック・パントマイム・人形劇・寄席囃子・パーカッション・リトミック等、様々な芸能体験を楽しみました。



芸団協の芸能文化振興部長  
大和滋さんは

◎芸術文化が、生活の中に位置付いていることが本当の意味で「豊かな社会」といえるのではないのでしょうか。そのために、私たちもいろいろな働きかけをしていますが、法的な面・経済的な面での支援体制がどうしても必要になります。「ボランティアだけで」ということには限界があります。  
◎日本では、芸術文化を個人的に楽しんでいる人は多いと思います。しかし、まだまだ芸術文化の楽しさ、意義について社会的な認識が十分ではありません。その認識を広めるために芸団協はモデルとなる事業を発信しています。新宿→東京→全国へと広がることを願っています。

## 「出前教室」からみてきた課題

～人材の育成と質の高いプログラムの提供～

芸団協は、平成12年から、学校と連携し、「学校に伝統文化を」と題する伝統文化出前教室事業を行っています。

8月13日に授業シュミレーションが予定されています。行政や学校関係者には、公開されますので芸能花伝舎までお問い合わせください。

この事業は、実演家が、小中学校の先生と一緒に授業を作り、ただ鑑賞するだけの授業ではなく、「創る」行為を通して豊かな感性を磨くものです。出前教室を行う実演家は、いずれも第一線で活躍している一流のアーティストで、生徒は本物の価値を心と身体で感じることができます。

今年度は小中高での実施を予定していますが、実施から5年を経た現在、課題も明確になってきています。ひとつは、実演家と協働で授業を組み立てていく先生の養成。そして、学校側の多様なニーズにこたえられる実演家の育成と質の高いプログラムの提供等です。

「芸能花伝舎」を拠点としたネットワークが機能していくことで、これらの課題を解決していく期待がもたれています。

## 伝統と新しい創造との出会いの場

### ◇人間国宝の「人と芸」を間近で体感

「芸の世界を極めた人だけが持つ空気を間近で感じていただく、芸の極みに触れる機会」として

7月 7日 山勢松韻(箏曲) (公演済み)

10月 10日 西川扇蔵(日本舞踊)

12月 12日 鶴賀若狭掾(新内)が予定されています。

その他に、日程は決まっていますが、野村萬(狂言)・中村鴈治郎(歌舞伎)・宮田哲男(長唄)・常磐津一巴太夫(常磐津)等が予定されています。

### ◇ジャンルを超えた新たな試み

若手落語家が音楽家との異分野交流のコラボレーションに取り組みます。9月9日、11月11日は創造性に遊ぶ“創遊シリーズ”にも御期待ください。

## 「芸事はじめ」で尾上菊之丞(舞踊)・常磐津東蔵(三味線)・崎元讓(ハーモニカ)のコラボレーションを披露

日本には昔から、6歳の6月6日から、芸事を習い始める習わしがありました。

この習わしにちなみ、「日本の芸能文化に新しい波動」を起こすべく、6月6日に芸能花伝舎「芸事はじめ」が開催されました。

野村萬芸団協会長・来賓のあいさつの後、「よろこび」と名付けられた三味線・ハーモニカの音に合わせ、日本舞踊を舞うという初の試みがあり、そのほかにも、アクション部会による殺陣演舞や小室等さんの歌などが披露されました。

